



例会報告

高山西ロータリークラブ

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 井辺 一章
- 幹事 堺 和信
- 会報委員長 田中 晶洋



白髭 田中 晶洋

<会長の時間>

6日7日と友人夫婦同士で長野へ行って来ました。名古屋から一組、中央線豊川駅で合流し計6名、ぶどう園に着きワインと松茸の大宴会、夜もホテルで松茸大宴会を楽しみました。旅行の気分をお裾わけという事で、皆様にワインをお持ちしました。どうぞご自宅で信州の味を楽しんで下さい。



◎夫人誕生日 (当日、ご自宅へ花束をお届け)

- 平 義孝 八重子 さん 10. 2 1
- 井辺 一章 和子 さん 10. 3
- 内田 幸洋 博子 さん 10. 3 1
- 田中 正躬 妙子 さん 10. 2 8

◎結婚記念日



- 門前 庄次郎 古橋 直彦 内田 幸洋
- 10. 11 10. 18 10. 25

(当日欠席) 田近 毅 10. 21、 東 庄豪 10. 19

◎出席表彰 なし

◎在籍周年記念表彰 なし

◎3ヶ月表彰

- ・内田 幸洋 ・垣内 秀文 ・小森 丈一 ・斎藤 章
- ・堺 和信 ・阪下 六代 ・挟土 貞吉 ・門前庄次郎

<幹事報告>

◎高山市長 より

- ・市制施行80周年記念事業 いのちの森づくり 植樹祭のご案内にて

日時 11月2日(水) 13:30 ~16:00

会場 中山公園陸上競技場

申込 10月26日(水)までに高山市環境政策推進課へ

<受贈誌>

地区R財団部門 (R I 第2ゾーンロータリー財団ニュース)、
不破RC (会報)、社団法人高山市文化協会 (広報高山の文化、
高山メセナメイト会報)

<出席報告>

| 区分 | 出席 | Make-Up | 出席者数 | 会員数 | 出席率 |
|-----|-----|---------|------|-----|--------|
| 前々回 | 28名 | 4名 | 32名 | 39名 | 82.05% |
| 本日 | 30名 | — | 30名 | 39名 | 76.92% |

<本日のプログラム> お祝い

◎会員誕生日 (当日欠席) 長瀬 達三 10. 2 5



挟土 貞吉 伊藤 松寿
10. 1 10. 1

ニコニコ委員会担当例会

委員長 大村 貴之

本日は NPO 法人飛騨高山わらべうたの会理事長の岩塚 久案子様にお越しいただきました。

岩塚様は1964年、福井県敦賀市生まれ。

群馬大学教育学部国語・国文学科ご卒業、2003年、結婚を機に飛騨高山に移り住み、翌年、ご出産。その後、飛騨高山独自のわらべうたに出会い、段々と消えつつある飛騨のわらべうたを次代に伝え、子育てに活かしてもらおうと、2007年に市民活動団体「わらべうたの会」を設立され、子育て中の親子とわらべうたを楽しむ活動を開始されました。2015年、NPO法人飛騨高山わらべうたの会を設立。月に一度の定例活動、童謡とわらべうたのコンサート開催、児童センターや幼稚園、保育園などへの出張講座に加えて、高山市初の商業施設内の子育て支援スペース「高山市つどいの広場チャイルドランド」の運営や、岐阜・飛騨の木を使った「木育」の推進、「地域お仕事発見隊」(地域のまちづくり協議会と協働)なども行い「子どもの笑顔が未来をつくる」を信条に活動を展開していらっしゃいます。ではよろしくお願ひいたします。



例会報告



『子どもの笑顔が未来を創る』

NPO 法人飛騨高山わらべうたの会 理事長 岩塚 久案子 様

【1】飛騨高山 — その魅力と課題

日本一の面積を有する高山市、東京都の総面積にも匹敵する、その広大な土地の約92%は森林です。

周囲は標高3,000mを超える北アルプス、御岳山、白山などの山脈が連なり、四季の移ろいが際立って美しい、自然豊かな地方都市です。温泉地でもある飛騨高山は、古い町並みや春秋の高山祭りに代表される歴史・文化をはじめ数多くの有形、無形の文化財を有している事もあり、観光産業が盛んで、また、木工、家具、地酒などの製造業、そして、農業、林業、畜産業などの第一次産業も広く営まれています。

更には、昨今は外国人観光客が大挙して訪れるようになり、インバウンド政策の整備、推進も進められています。

しかしながら、この高山市も、全国の多くの地方都市が抱える課題に直面しており、人口流出がどんどん進んでいて、特に、若者が大学進学などで市外へ転出し、大半がそのまま戻ってこないという現状があり、人口減少、少子高齢化に拍車をかけています。そのため、地域の産業を支える人材の高齢化や担い手不足が深刻化していて、特に市内中心部から離れた中山間地域での過疎化、市内中心部の空洞化が懸念されている状況です。

【2】飛騨のわらべ歌との出会い

9年前、長女が2歳の時、私は数人の子育て中のお母さん達と、童謡やわらべうた、手遊び歌などを楽しむサークルを作りました。その時、高山市生涯学習課の方から「飛騨のわらべうたの講習をしてもらえませんか？」と依頼されたのでした。皆、他県から嫁いできた母親ばかりだったので、つてを頼りに地元のご年配の方々を取材し、歌い方、遊び方を教わったのですが、その取材活動の中で、飛騨高山に伝わる独自のわらべ歌が100曲以上もあることを知り、驚きました。

「とっぺ（豆腐）のうた」「あたごさまのうた（地元の愛宕神社の歌）」など、日常の営みや飛騨高山の豊かな自然が素敵ならわらべ歌になって伝えられていて、「なんて豊かな感性、何て豊かな音楽センス…」と、本当に感動しました。

そしてそれは、親子が笑顔で向き合う時間、ふれあう時間を大切にしてきた飛騨人の、温かい思いやりと慈しみの心が生み出した無形の宝物なのです。その無形の宝物を、ぜひ子育て中のお母さん達、保育者の方たちに知ってもらって子育てに活かしてもらいたい、という想いから飛騨のわらべうたを伝える活動をスタートしました。

【3】飛騨のわらべうたを伝える活動と歌集の発刊、そして成果

①手作り冊子を作ることから…

取材して回った時痛感したのは、この無形の宝物が消え去りつつある、という事でした。70代～80代の方々は、よく覚えていらしたのですが、60代になると、「遊んだ記憶がない」という方がほとんどでした、もっと若い世代に至っては、「知らない」という方ばかりで、「せっかく取材したのだから…」と、8年前、遊び方を図解し、歌い方の目安に楽譜を起こして、手作りの歌集を作り、幼稚園や児童センター、小学校等に無料で配布しました。

希望される方には一軒一軒お届けしたのですが、この時の数々の

感動的な出会いは忘れられません。

「父が愛宕神社の氏子でね。この歌、父がよく私の顔をなでながら歌ってくれたんやさ…」と涙ぐみながら話してくれたおばあちゃん。「今度、孫が東京から遊びにくるんやさ。その時におじやみを教えてあげようと思って…」と見事にお手玉を操ってくれたおばあちゃん。

そういう方々に出会い、「ああ、飛騨のわらべ歌をたくさんの方々に伝えていく事が、家族、地域、そして、過去と未来を繋いでいく事につながっていくんだなあ…」と、心が温かくなり、わらべうたを伝える事への情熱がわいてきました。

歌集を配布した後から、保育園、幼稚園、支所地域など、いろいろな所から出張講座の依頼を頂くようになり、「定期的に教えてほしい」という要望が多く寄せられた為、月に一度の定例活動も開始しました。

定例活動は毎月100人くらいの親子の参加があり、出張講座は年間10～20か所、毎年9月の定例活動は「飛騨の里」という、日本の原風景が残る施設で、200人近い親子の方々と一緒に飛騨のわらべうたを楽しむ機会を作っています。

また、昨年NPO法人を設立し、8年越しの念願が叶って、歌集「ひだのわらべうた」を発刊しました。この歌集は、図書館、幼稚園、保育園、小学校などに無料で配布させて頂き、市内の書店でも販売しております。

②成果

一昨年より市から依頼を受けて「子育て支援スタッフ研修」として、市内の保育士や学童保育の先生、病児保育の先生など、子育て支援に関わる方々対象に「わらべうたの楽しみ方」という講座をさせて頂き、多くの施設で、わらべうたを保育や教育に活かして頂いています。

また、かつての飛騨の家々で当たり前のように見られた風景…、母親が子供とふれあう、笑いあう、祖母がわらべうたで孫をあやすといった機会が増えたという嬉しい声も頂いています。

また、2013年、よみうり子育て応援団大賞 奨励賞を受賞し、各種メディアで紹介して頂いたり、西宮で開催された子育てフォーラムで発表をさせて頂きました。

【4】商業施設での「子育て支援拠点 高山市つどいの広場」運営
児童センターや子供向けのイベントに子供を連れて参加できる母親は、子育てにさほど問題が無い方が多いと思います。アクティブで、子どもの豊かな成長の為には時間も労力も惜しまない、そして社交的な方が多いのではないのでしょうか。

わらべうたを伝える活動を始めてから、いろいろなお母さんとの出会い、「よそからお嫁に来たので、児童センターは行きづらくて…」「買い物帰りにちょっと子供を遊ばせられる所があったら…」等の相談を頂くようになりました。

それまで、高山市にはショッピングセンター内に子供を遊ばせられる所がなく、どんな方も気軽に立ち寄れる子育て支援スペースを作ろうと、企業、行政機関にかけあって、昨年、老舗のショッピングセンター内に「高山市つどいの広場 チャイルドランド」を開設しました。

週3回、朝10時から午後3時までの運営ですが、毎回50名～120名の来場があり、更には、子供の発達の事から保育園選び、仕事と子育ての両立や姑との関係の事まで、いろいろな相談も受け、然るべき機関に繋ぐ等の対応をしております。

【5】食育イベントの開催と地元の企業、団体との連携

地元のJAひだと共催で、毎年夏に食育のイベント「大地のめぐみサマーフェスティバル」を開催しています。食育をテーマに、わらべうたや童謡のステージと、「飛騨産トマトをおいしく食べよう!」「飛騨コシヒカリのおにぎり試食」など、数々の食育のブースで構成し、今年は6回目となります。

現代の子ども達は、食の乱れや偏りから、集中力がなく、キレやすい、体力がないなど、発達への悪影響も出ています。

例会報告

「地元の旬の食物を摂る」、「親子が笑顔で食卓を囲む」「苦手な野菜も工夫しておいしく食べる」などを啓発し、食育に情熱を持っている数々の地元の企業にも協力してもらい、夏休みの最初に行う有意義なイベントとして定着しています。

昨年は1200人を超える来場があり、今年は地元の小中学生にボランティアスタッフとして入ってもらい、このイベントを一緒に作り上げていこうと準備を進めております。

【6】地域のまちづくり協議会と連携して、地域おしごと発見隊を開催

昨年、スタッフの子ども達が通う小学校区のまちづくり協議会と連携して、小学生を対象に「地域おしごと発見隊」を開催しました。

キッザニアを運営するKCJグループの社長さん、マネージャーさんご縁を頂き、キッザニアのような事が高山でできないか…と思ったのと、若者の市外への流出が深刻な課題となっているこの高山で、子供達が地元の企業を知り、地元への愛着を持つようになれば…という想いをまち協の役員の方々に熱く語りました所、快く受け入れて下さり、カフェ、果樹園、警察署、酪農家、老人施設など11の企業の協力の下、小学生約100人が携わりました。

子ども達はもちろん、保護者も地域の魅力ある仕事の数々を知り、また、企業の方々にとっては、未来の地域の担い手作りの責任を実感できた意義ある事業となり、本年3月に開催された「協働のまちづくり市民フォーラム」で事例発表をさせて頂きました。

【7】「木育」の推進

広大な森林面積を有する高山市…。その森林が荒廃し、様々な環境問題を引き起こしている事を知り、「ぎふ木育ひろば」の設置を進めています。木のおもちゃに触れることが、子供達の豊かな成長に繋がるというだけでなく、飛騨産材を使った木のおもちゃを開発し、使っていく事で、たくさんの方々へ森林保全、環境保全の大切さを知ってもらいきっかけになれば…、そういう想いで今年から『木育推進』にも力を入れています。5月に開催したキックオフイベント「飛騨高山木育フェスタ」では、行政、木工関連企業、建築士協会、自然エネルギー開発団体など、たくさんの方々の協力を受け、1200人を超える来場がありました。

今後、県の「ぎふ木育推進プロジェクト」に則り、飛騨産材を使った木のおもちゃを開発、紹介していきたいと思っております。そして、県内ではすでに20か所以上開設されている木育ひろばを、飛騨地域にこそ開設できるように、活動を展開していきたいと思っております。

【8】すべては子ども達の笑顔のために『子供の笑顔が未来をつくる』

「何を子ども達に触れさせてあげるか」「何を子ども達に残していくか」…。私達の活動の全ては、この2点に集約されます。

飛騨高山が抱える様々な課題を考えた時、子供達が心豊かに育っていく事は、課題解決につながる一つの手立てとなると思います。

その為には、お母さんが笑顔で過ごせる事、魅力的で活力ある地域になっていく事、全ての世代の方々が楽しく交流できる事が本当に大切だと思っています。

子どもは未来そのものです。心豊かに育った子どもが、地域の、国の力になる…。この事が未来の社会で実感できれば、これ以上の喜びはありません。

ご清聴誠にありがとうございました。

<ニコニコボックス>

●井辺 一章さん、堺 和信さん

NPO 法人飛騨高山わらべうたの会理事長 岩塚 久案子 様のご来訪を歓迎いたします。本日の卓話楽しみにしております。宜しく願いいたします。10月1日に行われました高山駅東西自由通路完成式、大変大勢の人で賑わっていてびっくりしました。後日通路を渡りました。これから人の流れも変わり西側の町並みも変わって行くと思います。

●大村 貴之さん、岡田 賛三さん、下屋 勝比古さん、田中 武さん、門前 庄次郎さん、萱垣 敬慈さん、高桑 光範さん

本日はニコニコ委員会担当例会です。NPO 法人飛騨高山わらべうたの会理事長 岩塚 久案子 様、お忙しい所ご来訪ありがとうございます。卓話楽しみにしております。よろしくお祈りいたします

●黒木 正人さん

岩塚さん、今日のご来訪ありがとうございます。岩塚さんのお話しを楽しみにしていましたが、明日娘の結婚式が東京でありまして前泊のため今日の例会は欠席となりました。よろしかったら後日、個人的にお話しをお聞かせ下さい。黒いタマゴの会会長より。

●小森 丈一さん

4ヶ月振りに『俳壇』に採用になりましたので、今日はRの友の紹介をさせていただきます。

●下屋 勝比古さん

高山駅東西自由通路開通イベントには沢山の方に来場頂きありがとうございました。天候に恵まれいいイベントになりました。我が次男が岐阜県教員(中学英語科)に合格しました。これから心配です。

●岡田 賛三さん、内田 幸洋さん、米澤 久二さん、鴻野 幸泰さん、向井 公規さん、田邊 淳さん、杉山 和宏さん、松川 英明さん、

今大ヒット中のアニメ『君の名は。』飛騨市の施設が描かれており、注目を浴びています。観客動員1000万人興行収入130億円を超えてまだまだ勢いが止まりません。映画と一緒に飛騨も注目され、多くの観光客が来てくれる事に期待したいです。飛騨には映画館がなく地元で見る事が出来ないのが残念!!

●伊藤 松寿さん

井辺会長、信州特産のイツツワインを頂戴し誠にありがとうございます。家族みんなで楽しみにして飲ませていただきます。

●古橋 直彦さん

10月9~10日は秋の高山祭りです。本年は日曜日と祭りと重なり多くの観光客にお越しいただけると期待しております。また本日7日は「ためしの祭り」試楽祭(しがくさい)が神社本殿で執り行われ屋台順番の抽選祭も併せて斎行されます。願わくは2日館晴天に恵まれますよう

●折茂 謙一さん

本日早退します。

座右の銘

① 井辺一章 会長

『人の振り見て我が振り直せ』

小学校3、4年生の時、担任の先生より「自分の今後は何になりたいか良く考え、自分の言葉を持ちなさい」と言われ、先生と一時間以上も話し合いました。自分の先を見る言葉です。現在も一番好きな言葉です。

